金沢脳神経外科病院通信

2025年
vol.94

クローバー

創立45周年となりました。

病院長
山本 信孝

金沢脳神経外科病院は1980年5月21日に開院いたしました。今年で創立45年となります。40周年はコロナ禍でなにも行事ができなかったため今年を一つの節目にしたいと考えています。45年間院内外で病院をささえていただいた方々には心より御礼申し上げます。

脳神経外科の専門病院であることはずっと変わりませんが、この45年の間に病院内外の状況は大きく変わりました。開院当初は交通事故が極めて多い時代で頭部を怪我しての受診や入院が頻回で外傷の緊急手術がしばしばでした。当時は車のシートベルトは義務化されておらず、二輪車もヘルメットを着用する方はまれで今では考えられない状態でした。当病院の病室も当時は多くがなんと8人部屋でしかも基準看護ではないためほとんどの方に付き添いが必要だったため1部屋に16人入っていることも珍しくありませんでした。現在は1床あたりの床面積ははるかに広くなり付きそいが必要な方はおられません。

それから病院を取り巻く環境が大きく変わりました。交通事故が減少したことと反比例し脳卒中の患者さんが増え、現在は脳卒中治療が中心となっていますが、カテーテルによる治療が多くを占めるようになり、脊椎脊髄疾患の治療も多く手がけています。最近ではパーキンソン病などに対する外科手術も行うようになりました。その要因の一つには検査機器の発展が大きく寄与しています。45年前にはCTがようやく稼働しはじめた頃で、血管撮影も今ではカテーテルにより行うことが当然となっていますが、当時は頚部の動脈を直接穿刺して行っていました。その後、MRIが登場しましたが、当院でも更新をくりかえし現在5世代目となりその性能は日々向上し検査時間が短縮され画像も精細となってきました。当院のMRIは頭部や脊椎に関しては日本のトップレベルの性能を有しています。血管撮影の装置も隔世の感がありますし、CTもより短時間に鮮明な画像をえることができるようになりました。ただ、残念なのは開業当時から行われていた脳血流測定が放射性同位元素の扱いが厳しくなり当院では施行できなくなってしまったことです。脳血流の検査は脳血管障害のみではなく認知症の病型診断や脳腫瘍の悪性度を調べることができますので、必要な場合は他院にお願いせざるをえません。

開院当時には専門職としては医師のなかに脳神経外科専門医がいる程度でしたが、現在は分化が進み脳卒中専門医をはじめ数種類の専門医資格があります。リハビリテーションも当初はしっかりした資格がなくても行っていましたが、国家資格を持ったスタッフが行うのが当たり前となりさらにその資格も分化しつつあります。そのほかにも名称独占を含め当院には国家資格を持った12種類の専門職がおられますが、事務系の方も病院の表の顔、あるいは裏方として重要な職務についています。どの職種一つかけても当院での業務は成り立ちません。

もう少しで創立から半世紀となりますが、今後も当院が良質な脳神経外科的な治療を地域のみならず広い範囲の方々に提供できるよう職員全体で努力したいと考えています。

令和７年度 新入職員のご紹介

今年度、当院には11名の新入職員と新たに2名の常勤医師をお迎えすることができました。新たな仲間の加わりに、職員一同、心より歓迎の気持ちでいっぱいです。

フレッシュな感性と情熱が加わることで、これまで以上に活気ある職場となり、私たち自身も改めて身の引き締まる思いです。

今後も、新しい仲間とともに力を合わせ、地域の皆さまに信頼される医療の提供を目指し、より一層努力してまいります。

皆さまにおかれましては、どうぞ温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

看護師

うらた　の　の
浦田 望叶

●この仕事を選んだ理由

若い頃に妹が病気で亡くなった時に看護師の方が支えてくれたという話を母から聞き、自分も患者さんの支えになりたいと思ったからです。

●皆さんに一言

未熟ではありますが、患者さんの力に添えられるよう頑張ります。よろしくお願いします。

看護師

おおみ　ゆうな
近江 由菜

●この仕事を選んだ理由

身近な人を亡くした経験から命の尊さや健康の大事さを実感しました。命の限りがあるからこそ、1日1日を大切としその中で患者さんとそのご家族に寄り添い、支えられる仕事に強く惹かれ看護師を目指しました。

●皆さんに一言

まだまだ学ぶことが多いですが、毎日成長できるように努力します。患者さんとスタッフに信頼される看護師を目指して頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いします。

看護師

かさもり　み　き
笠森 未来

●この仕事を選んだ理由

学生時代に憧れていたものの一度は諦めました。社会人を経験し、改めて看護師に魅力を感じ目指そうと思いました。

●皆さんに一言

未熟ではありますが、諸先輩方から指導をいただき、チームの一員として貢献できるよう頑張ります。患者さんや仕事仲間から信頼される看護師を目指します。どうぞよろしくお願いします。

看護師

きのした　あかり
木下　灯

●この仕事を選んだ理由

自分が手術した際にやさしく励ましてくれた看護師の姿に憧れ、自分も看護師を目指そうと思ったからです。

●皆さんに一言

未熟ではありますが、何事にも一生懸命取り組み、患者さんの心の支えになれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

看護師

ひがしだにもも え
東谷 百恵

●この仕事を選んだ理由

親族に医療従事者が多く、看護師は身近な職業でした。
実習や臨床経験を通して、自分のニーズが上手く伝わらず苦難している方が沢山いると知り、そういった方々の力になりたいと思いました。

●皆さんに一言

患者さんの立場になってケアすることを心がけます。
知識や技術が未熟ですが、学ぶ姿勢を大切に頑張りたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

看護師

よねだ　つぶら
米田　円

●この仕事を選んだ理由

私は小学校から高校までスポーツをしてきて、様々な怪我をしました。
その際に通っていた整形外科の看護師さんが親身に寄り添ってくださり、身体だけではなく心身のケアも行っていることを知り、私も看護師を目指したいと思ったのがきっかけです。

●皆さんに一言

知識などがまだまだ未熟ですが、一生懸命取り組み、患者さんから信頼される看護師になれるよう頑張ります。皆様ご指導のほどよろしくお願いします。

臨床検査技師

にわたるか
庭田 琉花

●この仕事を選んだ理由

高校生の時に病院で心電図検査をした時、優しく声をかけて下さった臨床検査技師さんに憧れ、私もこの人に検査してもらいたいと思ってもらえるような臨床検査技師になりたいと思ったからです。

●皆さんに一言

患者さんの心に寄り添った検査ができるよう、明るく頑張ります！よろしくお願いします。

臨床工学技士

たにぐちみか
谷口 美佳

●この仕事を選んだ理由

医療と工学の両方に興味があり、医療機器を通して医療に関われたらと思ったからです。

●皆さんに一言

命のエンジニアとして皆さんに信頼されるよう頑張ります。よろしくお願いします。

作業療法士

にったゆうき
新田 侑生

●この仕事を選んだ理由

ソーシャルワーカーの母から作業療法士という仕事があることを聞き、身体機能だけでなく日常生活活動や社会参加などにも焦点を当ててリハビリを提供することを知り、作業療法士になりたいと思ったからです。

●皆さんに一言

まだまだ未熟ですが、作業療法士として成長できるように努力します。患者さん1人1人に寄り添い支援できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

作業療法士

やまぐちななみ
山口 奈菜実

●この仕事を選んだ理由

理学療法士をしている親戚の方から、作業療法士の存在を知り、興味をもち始めました。そこから自分も患者さんの社会復帰や病前の日常生活の再獲得に向けた支援を行いたいと思ったからです。

●皆さんに一言

分からないことが多いですが、患者さんの作業に対する思いを1番に考え、信頼してもらえる作業療法士になれるよう自分らしく笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。

医療ソーシャルワーカー

とのがいとたかし
殿垣内 貴士

●この仕事を選んだ理由

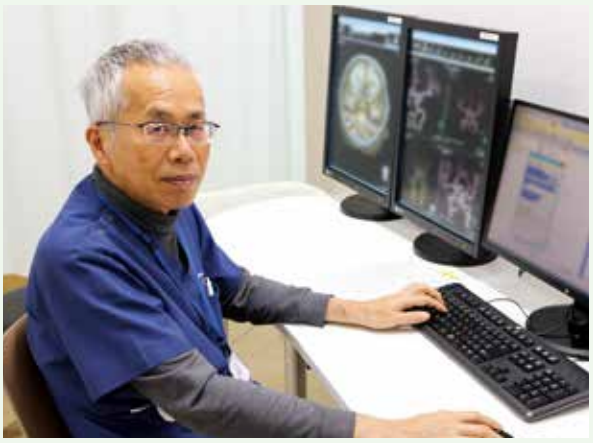
「人の役に立つ仕事がしたい。」と漠然に考えていた高校時代に社会福祉士を志すようになりました。大学に入って病院で働く先輩の話を聞く中で医療ソーシャルワーカーの仕事に興味を持ち、目指すようになりました。

●皆さんに一言

社会福祉士は多職種連携が欠かせません。皆さんと密にコミュニケーションを図り、患者様に適切な医療と福祉を提供できるよう務めますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

新たに着任された常勤医師のご紹介

あかい たくや
赤井 卓也　副院長



●皆様に一言

2025年4月、富山大学より赴任いたしました。出身は兵庫県です。1986年に富山医科薬科大学（現：富山大学）を卒業し、富山大学、金沢医科大学で、脳血管障害治療、小児神経外科手術、脳腫瘍手術、神経内視鏡・外視鏡手術の研鑽を積みました。これまでに修得した知識、技術、経験を活かして、診断・治療から回復期リハビリテーションまで、地域に密着したきめの細かい医療を実践したいと思っております。

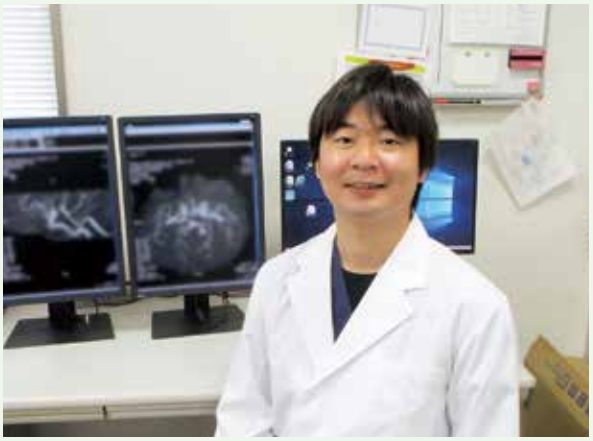
●紹介を希望する疾患

脳神経外科疾患全般について診療できますが、頭蓋骨縫合早期癒合症（あたまのゆがみ）、二分脊椎（せなかのくぼみ）などの小児先天性疾患、水頭症治療を専門としています。

●座右の銘

先送りせず、毎日、着実にやるべきことを行うようこころがけています。良い面もそうでない面も、必ず誰かがみていると信じ、戒めています。

もりしま ゆたか
森島　穣　脳神経外科　部長



●皆様に一言

このたび金沢脳神経外科病院に着任しました森島と申します。これまで北海道大学付属病院ならびに関連病院にて診療に従事して参りました。急性期から慢性期まで幅広く対応し患者さま一人一人の状況に配慮した医療の提供に努めていく所存です。今後は地域の先生方とも連携を図りながら住民の皆さまにとってより身近で安心できる医療環境を整えていければと考えております。
ご紹介やご相談がございましたら、どうぞお気軽にお声かけください。今後ともどうぞよろしくお願いします。

●紹介を希望する疾患

脳卒中全般　脳動脈瘤　内頚動脈狭窄症

●座右の銘

医は命を診る者、人生を支える者

病院理念　私たちは脳神経外科医療の専門家として十分な医療を提供し社会に貢献します。

Kanazawa Neurosurgical Hospital

医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2
TEL：076-246-5600　FAX：076-246-3914
https://www.nouge.net

金沢脳神経外科病院 広報誌　第94号　発行：広報委員会
2025年5月30日発行